

S^o Clean ^{volume 25*}
Kanagawa Coastal Environmental Foundation



財団を支える企業の取組みを紹介

財団は、様々なカタチで多くの企業・団体様等からサポートを受けています。そんな『企業サポーター』の特別法人・団体会員の中から、財団設立時にご出捐し継続してサポートいただいている小田急電鉄株式会社／公益財団法人小田急財団、店舗でのフォトフレーム作りイベントを通して美化啓発活動にご協力いただいている株式会社アダストリアグローバルワーク営業部、会員としてだけでなく、自ら汗を流してビーチクリーンアップにも取り組まれている医療法人青海会 しんゆり青木整形外科の3社様の取組みや海への想いなどを紹介します。



小田急電鉄株式会社／公益財団法人小田急財団



写真左) 公益財団法人小田急財団 川崎義人さん[左]と小田急電鉄株式会社 CSR・広報部 小賀野光範さん[右]／写真右) 2016年小田急クリーンキャンペーン in 江の島の集合写真

小田急グループでは、2000年から江の島のクリーンキャンペーンを実施していますが、こうした海岸清掃を鉄道会社が取り組む意義について教えてください。

小賀野) 小田急は今年開業90周年、江ノ島線も開業88年になりますので、江の島は、小田急グループにとって創業時からかけがえのない財産なんです。

社員だけでなく、その家族やOBを中心に年に1回実施している江の島のクリーンキャンペーンは、参加者の環境意識の向上を図るだけでなく、日頃の恩返しの意味もあります。やはり、鉄道会社というのは、地元根付いている企業ですので、社員が自ら進んで地域に貢献することに意義があるのだと思います。

近年は一般の参加者も増えてますか？

小賀野) 3年前からクリーンキャンペーンの車内刷り広告を始めて、一般参加者も増えてきています。昨年は、全体で752名の参加のうち、一般参加者が227名ありました。

美化財団にもご提供いただいておりますが、ごみ袋も作成されていますね？

川崎) ごみ袋は小田急財団が作成しています。小田急沿線の豊かな自然を保全する活動にお役だけいただければという思いで、自治体やNPO、企業に寄贈させていただいています。

お二人の海への想いをお聞かせください。

小賀野) 子どもの頃、両親とともに小田急線に乗って江の島に遊びに行きました。今はスタッフとしての立場ですが、小さい頃から親しんだ江の島の自然環境を保っていただければと思っています。

川崎) 小田急電鉄では、夏にビーチバレージャパンという大会に協賛しています。選手の方が安全にプレーできて、かつ地域の方も安心して遊べるきれいな海岸を整備していかなくてはならないと思います。

小田急財団としては、ごみ袋の寄贈を通して、そうした環境づくりにお役に立つことができればと思っています。

株式会社アダストリア グローバルワーク営業部



写真左) 株式会社アダストリア コーポレートデザイン室 藤井綾美さんとグローバルワーク ららぽーと湘南平塚店 エース店長 杉本哲秀さん / 写真中央・右) イベント時の様子

財団のことをサポートするきっかけを教えてください。

藤井) グローバルワークはブランドコンセプトとして「すべての人々のシアワセの為にあるブランド」を掲げています。お客様と幸せを共有し、一緒に地域活動を行いたいという思いから、湘南・平塚地域の魅力である「海」に着目しました。美化財団が地域の人のために取り組んでいることに共感して一緒にやらせていただこうと思いました。

実際、イベントの前後で認識は変わりましたか？

杉本) 今回、店内でフォトフレーム作りのイベントを行いました。事前準備の段階から、パネルを展示したり、財団職員から店舗スタッフへ講義してもらったりして、イベント前から環境のこ

とを知ることができてよかったです。イベントを通して、確実にごみや海などの話が、スタッフ間で増えましたね。

美化財団と洋服とは直接は結び付かないかもしれませんが、お客様に幸せになっていただきたいとか地域の方に貢献したいという想いは、同じなんだと改めて思いました。

今後の展開は？

藤井) これからも地域への貢献は続けていきたいですね。こうしたイベントを通して、環境や地域の課題などに対して自分事になることによって、お客様との縁をさらに深めていけるのではないかと思います。洋服だけにとらわれず、みんなが楽しめることを自由にやっていきたいなと思っています。

医療法人社団 青海会 しんゆり青木整形外科



写真左) しんゆり青木整形外科のスタッフの皆さん / 写真右) 鶴沼海岸でのビーチクリーンの様子。写真一番左が代表者の青木航洋先生

(写真提供：しんゆり青木整形外科)

どうして財団をサポートしようと思ったのですか？

ビーチに遊びに行くと、ビーチクリーンアップをする方々の姿を度々見かけたり、時には飛び入りでビーチクリーンアップに参加したりして、どうすれば自分たちの職場でもできるか、と興味を持っていました。そこで調べると、かながわ海岸美化財団に出会い、ぜひ協力したいと思いました。

海岸美化への取り組みについて教えてください。

当事業所では、2ヶ月に1回「有志会」というイベントを行っています。働きやすい職場を作るにはどうしたらいいか、利用者さんに満足していただける仕組みなど、グループディスカッション形式で話し合うという名目の飲み会です。

その活動の一環として、奉仕活動が提案され、少しでも楽しくできるということも魅力的だったので、ビーチクリーンアップを実行することになりました。クリニックとビーチクリーンアップとは直接の関係はないのですが、医療人として大切な奉仕の精神を育むという目的があります。海岸のゴミは清掃しても清掃してもまたやってくるので、これからも継続して清掃していきたいです。

最後に海への想いを教えてください。

当法人名を青い海の会「青海会」(あおみかい)と名付けたのは、地球上の生命の源である海を大切にしたいという思いからです。幼いころから海が大好きですし、海にいと命の原動力を感じますので、きれいな海を守りたいです。

5月 バーベキュー (BBQ) ごみシーズンの始まり



平成 28 年度もゴールデンウィークから一気に増え始めたのが BBQ ごみ。県、地元市町、財団の啓発活動やごみ対策を上回る量のごみが、各地の海岸に捨てられています。酒類のビン、食材を入れる業務用発泡スチロール容器、紙皿や焼き網はもちろんのこと、本格的なオーブンも捨てられているような、BBQ ごみの質と量がエスカレートしている海岸もありました。



5月 ミズナギドリ大量漂着



例年 5 月の下旬頃に、神奈川県海岸には、ミズナギドリの死骸が漂着します。ミズナギドリは、5 月から 6 月にかけてオーストラリアのタスマニア周辺から北海道の根室沖へ飛来する渡り鳥です。北上していく途中で、悪天候に遭遇すると命を落とす個体が多数あります。

平成 28 年度は、5 月 20 日から約 10 日間、海岸線一帯に数多くのミズナギドリの死骸が漂着したので、この期間は鳥の回収をメインに海岸清掃にあたり、2,015 羽の死骸を回収しました。

過去の履歴を確認したところ、4 年に 1 回のオリンピック開催年に回収数が多く、一定の周期において渡り鳥が多いのか？偶然にも彼らの渡りの時期と荒天が重なるのか？原因は不明ですが、海岸清掃に携わっている中において、生命と自然の神秘を感じる出来事の一つです。

7月初頭まで台風の発生なし

平成 27 年は 7 月までに 9 個の台風が発生し、うち 5 月の台風では年間清掃費の半分近くを使用して清掃を行ったエリアもありました。しかし、一転して平成 28 年は 7 月 3 日まで台風が発生しないという非常に稀な年となりました。

そのため、海岸は 7 月まで穏やかで良好であっただけでなく、その後も前年度比約 65%と非常に漂着ごみの量が少ない状況が続きました。こうしたことから、年間を通して必要なタイミングで適切な清掃を実施することができ、海岸美化にはとても良い年となりました。



花火大会のごみ



平成 28 年度も各所で花火大会が開催され、翌日は早朝から清掃を開始しました。海岸に限らず、周辺の道路や植栽にも大量のごみが捨てられていましたが、特に多かったのがレジャーシート。新品のモノがパッチワークのように海岸に放置されていました。

8 月 台風 9 号襲来



日本のはるか南の海上で発生した台風 9 号は、典型的な台風のカーブを描くことなく、まっすぐに関東地方を目掛けて北上しました。このコースは平成 19 年に西湘バイパスを崩壊させた台風 9 号のものと似ていたため、ヒヤヒヤしながらその足取りを注視していました。

その後、8 月 22 日に千葉県館山市に上陸した今回の台風 9 号は、平

成 19 年ほどではないにせよ、大量のごみを海岸に残していきました。通過後は、夏休み最後の週末が控えていたため、それまでの復旧を目指し、まずは海水浴場を集中的に清掃しました。そして、迷走していた台風 10 号が立ち去るのを待って、葉山町、鎌倉市、茅ヶ崎市、平塚市、大磯町の海岸において神奈川県費による緊急清掃を実施しました。

9 月 だらだらと漂着し続けるごみ



前述した通り、平成 28 年度は 7 月まで台風の発生が無く、2 月の低気圧通過後から約半年間のごみが、河川敷や川床および海底に溜まっていた状況でした。その後上記の 8 月の台風 9 号の雨で一気には海まで流出し、海上を漂い続けていた大量のごみが、この時期の南西風によって、9 月上旬までの約 2 週間、だらだらと海岸に漂着し続けました。そのため海岸清掃をやってもやっても海岸が落ち着かず、三浦市、逗子市、小田原市において、台風 9 号通過後の第二弾の緊急清掃を実施しました。

9 月 白い粉事件簿

9 月 26 日、横須賀市長瀬海岸で白い粉が入った袋を発見しましたが、見た目からは何の粉なのか判断できず、回収できませんでした。

砂糖なのか？塩なのか？それとも違法薬物なのか・・・？現場がざわつきましたが、白い粉は警察に押収され、その後の調査で、毒物及び劇薬取締法により劇物に指定されている、水酸化ナトリウムとシュウ酸という薬品と判明しました。

水酸化ナトリウムは、水をかけると急激に発熱するとても危険なモノ。また、シュウ酸は体内で血液中のカルシウムイオンと強く結合する毒性があり、こちらも危険な薬品とのこと。なんとも人騒がせな白い粉事件簿でした。



9月・10月 放置自転車目立つ



9月から10月にかけて、海岸清掃や砂防林清掃の現場で、放置自転車が非常に目に付きました。なぜこの時期に放置自転車が多かったのかは不明ですが、こうした自転車は、海岸管理者の県土木事務所が撤去警告看板を設置したり、所轄交番へ照会したりした後、所在者不明となった段階でごみとして処理されました。

10月 海水浴場跡地のクギの回収と調査に協力

10月19～20日に藤沢市片瀬東浜で行われた、藤沢市による海の家跡地のクギの回収作業と調査に協力しました。

パチンコ玉の回収等で使用されるハンドマグネットを使用し、2日間にわたり砂浜の表面を撫で回す作業によって回収されたクギの本数は1,692本。平成22年に行った同様の調査では約8,000本を回収しているので、その後の県や市の対策活動により大幅にクギが減少していることが分かりました。



12月 三浦市毘沙門天に漂着した特大流木を処理



12月、年末に向けて三浦市毘沙門天に漂着していた特大流木を処理しました。現場は車両が近づけない岩礁部だったので、チェーンソーで運べる大きさに切断してから、人力でごみ運搬車まで運びました。重たい流木を担ぎながら足場の悪い岩礁部を運ぶ作業にとっても苦労しました。

3月 海藻が大量に漂着

例年3月は鎌倉市や逗子市の海岸を中心に海藻が大量に漂着します。こうした漂着海藻は、平成24年度まではすぐに埋却処理していましたが、平成25年度から人工ごみだけ取り除いて、状況が許す限り海岸に存置し、脱水・乾燥させて体積を小さくしてから回収または埋却する方法に切り替えました。それによって平成28年度の実績は、平成24年度に比べて約23%まで減少しました。その差分の経費で、出来る限り人工ごみの清掃に専念し、海藻は自然の循環をうまく利用して処理する方法を模索しています。



財団直営部隊における海岸ごみ清掃事業



7月から10月末までの67日間、4人組1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に取り組みました。直営部隊は、ごみ量が多い場所や優先順位の高い海岸の清掃などを実施し、87,720kgのごみを回収することができました。

美化啓発事業 概要

海岸美化を一層推進するための啓発事業を展開しました。春と秋には、県下の海岸の一斉クリーンアップを開催しました。また、夏休み期間中に「おはようビーチクリーン」を開催し、子供たちを中心としたビーチクリーンアップを実施しました。さらに学校の総合学習の受入れ（学校キャラバン）や企業研修の受入れも積極的に行う一方、音楽イベントや環境展等へ出展したり、県が取り組む婚活イベントに協力したりと、より幅広い方々に海岸美化を呼び掛けました。



春と秋の県下一斉ビーチクリーンアップ実施結果

春 ビーチクリーンアップかながわ 2016

春の県下一斉ビーチクリーンアップ「ビーチクリーンアップかながわ」を各市町で開催されるごみゼロクリーンキャンペーンに合わせて、ボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

ビーチクリーンアップかながわ 2016 結果概要

実施期間	平成 28 年 5 月 5 日～平成 28 年 6 月 5 日	
開催場所	神奈川県内 36 会場	
参加人数	12,696 名	
ごみ量	可燃	16,831 kg
	不燃	6,531kg
	合計	23,362kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市・小田原市 茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町・大磯町 二宮町・真鶴町・湯河原町	
後援	神奈川県	
協力	各ボランティア団体	



秋 国際海岸クリーンアップ 2016

一般社団法人 JEAN を中心に実施されるごみ調査を兼ねた海岸清掃に合わせて、県下一斉ビーチクリーンアップ「国際海岸クリーンアップ」をボランティア団体、企業、地域組織等、多くの方のご協力を得て、実施しました。

国際海岸クリーンアップ 2016 結果概要

実施期間	平成 28 年 9 月 3 日～平成 28 年 10 月 2 日	
開催場所	神奈川県内 23 会場	
参加人数	1,001 名	
ごみ量	可燃	335kg
	不燃	949kg
	合計	1,284 kg
主催	公益財団法人かながわ海岸美化財団	
共催	一般社団法人 JEAN	
後援	神奈川県・横須賀市・平塚市・鎌倉市・藤沢市 小田原市・茅ヶ崎市・逗子市・三浦市・葉山町 大磯町・二宮町・真鶴町・湯河原町	
協力	各ボランティア団体	



環境学習の推進

内 容	件 数	人 数
学校キャラバン	58 件	3,687 名
企業等の環境貢献活動等の受入れ	26 件	2,412 名
教職員体験研修の受入れ	2 件	2 名
中学生等の職業体験の受入れ	4 件	12 名
大学生のインターンシップの受入れ	2 件	7 名

夏休み期間に「おはようビーチクリーン」を開催し、子供たちの環境学習の受け皿となる取組みを実施しました。また、学校の総合学習の受入れ（学校キャラバン）だけでなく、企業の環境貢献活動等の受入れも積極的に行い、2,400 人を超える社会人に海岸美化を訴えました。さらに、中学生の職業体験だけでなく、大学生のインターンシップも受入れ、実践的な仕事体験を通して、財団の業務や海岸美化への理解を深めてもらいました。

おはようビーチクリーン



2016 年から施行された国民の祝日「山の日」の 8 月 11 日に、茅ヶ崎市汐見台海岸で、地元の子供たちを中心に自治会の方々や企業のご協力の得て、「おはようビーチクリーン」を開催し、126 名

の参加者で 180kg のごみを回収しました。

ビーチクリーンアップの後は、きれいになった海岸を前に環境クイズを楽しみました。

学校キャラバン [藤沢市立辻堂小学校の取組み]

6 月 8 ～ 10 日と 14 ～ 17 日に、藤沢市立辻堂小学校に「学校キャラバン」に行ってきました。

1 年生と 2 年生を対象に教室で自分たちが考えるきれいな海のイメージを出し合ったり、海岸のごみについて学んだりした後、最終日に学校前の海岸で実際にビーチクリーンアップをし、学習の理解を深めました。



企業等の環境貢献活動等の受入れ [平塚地区環境対策協議会の取組み]



9 月 29 日に、平塚地区環境対策協議会（旧「相模川をきれいにする協議会」）の皆様の見学を受けました。

日ごろ地域の公害防止や河川敷の清掃・植栽活動等に取り組み、環境問題に関心の高い参加者に、海岸でのビーチクリーナーによる作業実演を含めて財団の取組みや海岸ごみの大部分が川に由来する実態等を説明させていただきました。

教職員体験研修の受入れ

8月8・9・12・16日に、神奈川県教育委員会の教職員体験研修を2件受入れました。
財団職員と一緒に海岸をパトロールし、ごみの漂着状況を確認したり、実際に清掃したりしながら、海岸ごみの実態の認識を深めていただきました。



中学生の職業体験の受入れ [藤沢市立片瀬中学校]



10月26日～27日の2日間、藤沢市立片瀬中学校2年生2名の職業体験を受入れました。
財団職員に同行し、海岸の清掃作業などの実践的な仕事を体験し、後日、この体験をまとめて、保護者や関係者の前で発表しました。

大学生のインターンシップの受入れ [桜美林大学]

3月2日～7日の5日間、桜美林大学からインターンシップ生3名を受入れました。
3名は、「交流会」(p12参照)をコアイベントに様々な業務を体験し、最終日にその体験をプレゼンテーション資料としてまとめて、発表しました。



河川活動団体との連携



12月23日、桜美林大学で、河川で活動している団体とともに、川のごみと海岸のごみを考える公開講演会で講演してきました。
実際に河川上流部で清掃活動している方たちが中心の来場者に対して、川の出口である海岸におけるごみの現状や、その多くが川からやってくることを話しました。

海岸美化キャンペーンの実施

イベント出展 [J:COM 湘南夏のスポーツフェスティバル]

8月14日、テラスモール湘南で開催されたJ:COM湘南主催の「夏のスポーツフェスティバル」に出展し、海に落ちているビーチグラスなどでオリジナルの写真立てをつくるビーチグラスクラフトのワークショップを実施しました。



イベント協力 [恋カナ!プロジェクト]



3月25日、神奈川県が取り組む結婚支援事業『恋カナ!プロジェクト』の日帰りツアー「ビーチグラスクラフト体験とNIGHT WAVEでロマンティックな湘南の海を♥湘南ひらつか〜逗子を巡る満喫旅」のプログラムの一環で、ビーチクリーンアップとビーチグラスクラフト体験に協力し、8組のカップル成立に貢献しました。

海岸美化ボランティアツアーの実施

実施日	団体名	研修内容	人数
平成 28 年 4 月 20 日	パンプキントラベル	講義・ビーチクリーン	30 人
平成 28 年 6 月 21 日	カリフォルニア州サリーナス市三校合同研修	講義・ビーチクリーン	35 人
平成 28 年 9 月 15 日	栃木市立栃木第四小学校	講義・ビーチクリーン	8 人
平成 28 年 10 月 20 日	真岡市立山前小学校	講義	30 人
平成 28 年 10 月 21 日	真岡市立山前小学校	ビーチクリーン	30 人



海岸美化活動と旅行会社の企画する観光等とのコラボレーションによるビーチクリーンアップ等を実施しました。

6 月 21 日、鎌倉坂ノ下海岸でアメリカカリフォルニア州から来日した三つのハイスクールの生徒に財団職員から海岸ごみの講義をした後、ビーチクリーンアップしていただきました。

街頭美化キャンペーンの実施

市町名	場所	実施日
茅ヶ崎市	JR 茅ヶ崎駅南口・北口駅前	平成 28 年 7 月 17 日
藤沢市	小田急片瀬江ノ島駅前	平成 28 年 7 月 18 日
平塚市	海濱ベルマールひらつかビーチパーク by shonanzen	平成 28 年 7 月 18 日
大磯町	大磯海水浴場・漁港・駐車場	平成 28 年 7 月 18 日
二宮町	JR 二宮駅周辺	平成 28 年 7 月 23 日

7 月 18 日の海の日を中心に、「湘南海岸をきれいにする会」と共催により、地元行政・関係機関と連携して、駅前等で、啓発資料を配布して、ごみの持ち帰りを呼び掛けました。



観光協会との連携

公益社団法人藤沢市観光協会と連携し、主要駅 4 ヶ所でリーフレットを配布し海岸美化を呼び掛けました。

実施日	場所
平成 28 年 6 月 24 日	JR 横浜駅
平成 28 年 6 月 24 日	小田急 新宿駅
平成 28 年 7 月 6 日	JR 浦和駅
平成 28 年 7 月 6 日	JR 上尾駅



(写真提供：公益社団法人藤沢市観光協会)

美化啓発ポスターの掲出



掲出場所	掲出協力企業
西部駐車場・中部駐車場・片瀬海岸地下駐車場	株式会社湘南なぎさパーク
逗子海岸ロードオアシス・下浦海岸駐車場	神奈川県道路公社

海岸沿いの駐車場等の施設に、管理会社の協力を得て、美化啓発ポスターを掲出しました。

Facebook ページからの情報発信



財団公式 Facebook ページの運用を強化し、海岸の状況や沿岸域のイベント情報等をタイムリーに掲載することにより、平成 29 年 3 月 31 日現在 6,600 人の購読者を得ています。この Facebook ページを見て、新たにビーチクリーンアップに取り組むボランティアも増え、強力な広報ツールとして機能しています。

<https://www.facebook.com/bikazaidan>

美化団体支援事業 概要

海岸清掃ボランティアに対し、ごみ袋の提供・清掃用具の貸出・ごみの回収等の支援を実施しました。ボランティア数は、順調に増加し、前年度より1,615人増えました。

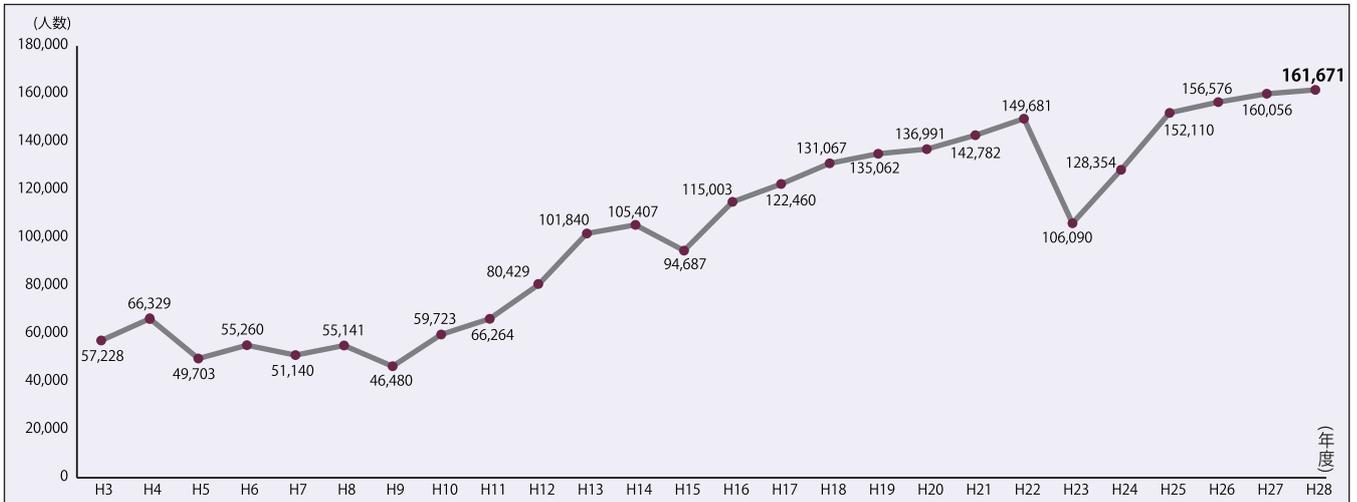
また、海岸や河川等において美化活動を実施しているボランティア団体や企業・学校・関係行政機関を対象に、「海岸美化団体等交流会」を開催し、課題の共有や情報交換等を図りました。



(写真提供：ソレイユプロヴァンス FUJISAWA BEACH CLEAN PROJECT)

海岸清掃ボランティア参加者数

海岸清掃ボランティア参加者の推移（平成3～28年度）



海岸清掃ボランティア参加者の内訳（平成28年度と平成27年度）

年度	平成28年度			平成27年度		
	件数	参加者数	割合(%)	件数	参加者数	割合(%)
地域団体	93	25,275	15.6	92	26,922	16.8
環境団体	173	21,596	13.4	162	25,203	15.8
学校・教育	115	12,880	8.0	143	13,619	8.5
行政	16	14,430	8.9	19	15,744	9.8
企業等	236	20,881	12.9	268	24,822	15.5
マリン	190	54,776	33.9	165	39,177	24.5
その他	313	11,833	7.3	274	14,569	9.1
合計	1,136	161,671	100.0	1,123	160,056	100.0

定期清掃と随時清掃（平成28年度と平成27年度）

年度	平成28年度		平成27年度	
	件数	人数	件数	人数
定期清掃	126	49,952	126	49,526
随時清掃	1,010	111,719	997	110,530
合計	1,136	161,671	1,123	160,056

海岸美化団体等交流会を開催



3月4日、神奈川県藤沢土木事務所汐見台庁舎で海岸美化団体等交流会を開催し、過去最高だった昨年度を越える 86 団体・151 名の参加がありました。

交流会は、公益財団法人日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会の齋藤愛子さんの「Enoshima Again - セーリング 2 回目の五輪開催」と題したご講演からスタート。続いて、長年海岸美化

活動に取り組まれているボランティア団体・企業・学校に感謝状を贈呈し、記念品として各団体が活動している海岸の砂で作ったオリジナルの砂時計を贈呈しました。次に、神奈川県立横浜国際高等学校インターアクト部の天野さんとサーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブの小川さんに活動報告をしていただきました。最後の懇親会は、新たな繋がりが生まれる場となりました。

ボランティア団体等の表彰について

公益財団法人かながわ海岸美化財団 感謝状

長年にわたって海岸美化に取り組んでいるボランティア団体・企業・学校とごみ袋等をご協賛いただいた企業等に感謝状を贈呈しました。

贈呈先

区分	団体名
ボランティア団体・企業	江の島ピーエフアイ株式会社 (新江ノ島水族館) 大崎ローカルズ
	日本労働組合総連合会 神奈川県連合会 西湘地域連合 湘南海具株式会社 HALE Surf & Sail
	小田原第一信用組合 株式会社 FCC
	三浦市立南下浦小学校 小田原市立白鷗中学校
	明德学園 相洋中高等学校
協賛	神奈川トヨタ自動車株式会社 株式会社クオカード 嵯峨野株式会社 (きしゃぼん古本募金) 日本サニパック株式会社
	有限会社サニー 公益財団法人小田急財団
	株式会社湘南なぎさパーク 日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	江の島ピーエフアイ株式会社 有限会社永塚製作所
	マルイグループ福祉会 株式会社ガイア
	横浜銀行 横浜バンクカード 大東建託株式会社 平塚支店
	リーバイ・ストラウスジャパン株式会社 湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	株式会社ルミネ 藤沢店

かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」緑綬褒章受章

かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」が、長年にわたり海岸清掃を実施してきた功績が認められ、平成 28 年秋の褒章において、緑綬褒章を受章されました。



(写真提供：かながわ信用金庫)

国・県等の各表彰

国・県からの依頼を受けて、財団が推薦させていただき、多くのボランティア団体が各表彰を受賞されました。

表彰名と受賞団体

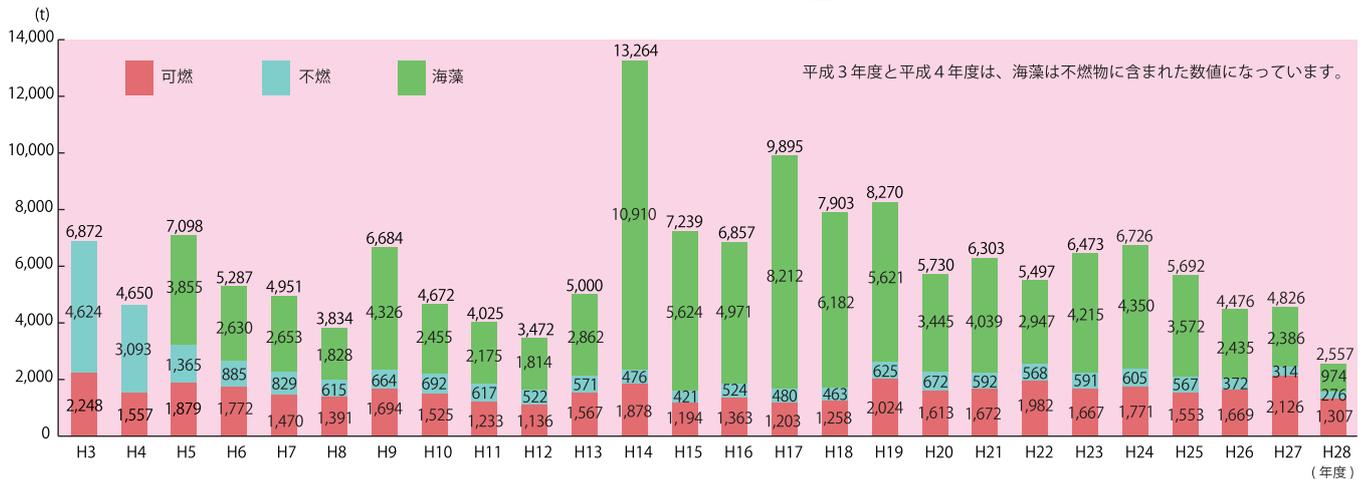
緑綬褒章 かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」
神奈川県 横須賀三浦地域県政総合センター所長表彰 特定非営利活動法人 green bird 鎌倉チーム
神奈川県 湘南地域県政総合センター所長表彰 アラカイ 海岸清掃団体 湘南ウキパイ

平成 28 年度 海岸清掃ごみ等処理量集計表

(単位：kg)

区分	通常清掃			緊急清掃			合計		
	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻	可燃	不燃	海藻
横須賀市	41,240	30,450	4,795	0	0	0	41,240	30,450	4,795
三浦市	23,682	24,093	6,805	0	4,400	11,400	23,682	28,493	18,205
葉山町	27,990	4,440	19,170	7,690	320	4,980	35,680	4,760	24,150
逗子市	32,800	7,695	26,800	2,570	140	0	35,370	7,835	26,800
鎌倉市	137,050	11,890	748,000	21,190	4,600	46,000	158,240	16,490	794,000
藤沢市	355,538	111,902	85,200	18,030	1,530	0	373,568	113,432	85,200
茅ヶ崎市	103,390	41,610	8,000	26,590	1,040	0	129,980	42,650	8,000
平塚市	201,450	5,525	0	93,190	4,700	0	294,640	10,225	0
大磯町	121,125	3,625	0	43,220	7,440	0	164,345	11,065	0
二宮町	4,305	1,180	751	0	490	0	4,305	1,670	751
小田原市	23,980	2,720	0	10,165	1,890	0	34,145	4,610	0
真鶴町	9,000	985	12,000	600	2,130	0	9,600	3,115	12,000
湯河原町	2,105	1,444	90	0	0	0	2,105	1,444	90
合計	1,083,655	247,559	911,611	223,245	28,680	62,380	1,306,900	276,239	973,991

平成 3 ～ 28 年度 ごみ処理量の推移



美化財団へのサポートについて

平成 28 年度も、会員として、海岸美化募金として、物品協賛や寄付金としてなど、様々な形で多くの個人、企業・団体様にサポートいただき、海岸清掃ボランティアへのごみ袋・軍手の提供や美化啓発イベントなどを実施することができました。
ありがとうございました。

財団では、随時、海岸美化募金や会員、企業・団体様からのご協賛・ご寄付等を募集しております。皆様からのお声かけをお待ちしております。



江の島ビーエフアイ株式会社 堀社長（写真左）と当財団代表理事（写真右）

海岸美化募金の募集

『13 oceanviews』をコンセプトに、12ヶ月プラス表紙の計13枚で、財団が清掃している13市町のオーシャンビューを月替わりで楽しめるカレンダーを作成しました。
このカレンダーは会員特典のほか、海岸美化募金にご寄付いただいた方にもお配りし、240,000円の募金をいただきました。



会員の状況

会員別一覧（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区分		会員数	口数
法人・団体	10口以上（特別法人・団体会員）	20	200
	1~9口	54	62
個人		211	366

新規会員（平成 29 年 3 月 31 日現在／順不同）

区分	法人・団体名
特別法人・団体	医療法人社団 青海会 しんゆり青木整形外科
	株式会社ガイア
	株式会社アダストリア グローバルワーク営業部
法人・団体	有限会社永塚製作所
	株式会社スターライン
	一般財団法人横須賀西部水産振興事業団
	公益社団法人大磯町観光協会
	建設廃棄物協同組合
	東京海洋大学 海岸環境研究会 Coastline
	一般社団法人横須賀市観光協会
	公益社団法人藤沢市観光協会
	株式会社ニューフレアテクノロジー
	公益財団法人神奈川県公園協会
	一般社団法人神奈川県建設業協会
	一般社団法人茅ヶ崎市観光協会
	一般社団法人平塚市観光協会
	株式会社ヤチヨ
	江ノ島電鉄株式会社
	株式会社ワイ・ケー電子
	特定非営利活動法人日本ライフセービング協会

協賛の状況

協賛一覧（平成 29 年 3 月 31 日現在／順不同）

区分	法人・団体名
物品協賛	公益財団法人小田急財団
	日本サニバック株式会社
	日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
	大東建託株式会社 平塚支店
	湘南藤沢市民マラソン実行委員会
	株式会社ガイア 有限会社永塚製作所
寄付金	江の島ビーエフアイ株式会社（新江ノ島水族館）
	株式会社クオカード
	リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
	有限会社サニー
	株式会社モメンタム ジャパン
	株式会社湘南なぎさパーク
	リコージャパン株式会社
	横浜銀行 横浜バンクカード
	マルイグループ福祉会
	近畿日本ツーリスト株式会社 横浜支店
	神奈川トヨタ自動車株式会社
	株式会社アダストリア
	株式会社ルミネ 藤沢店
	THE AMMANDO FOUNDATION
	嵯峨野株式会社（きしゃぼん古本募金）
株式会社ジェイコム湘南	
ジョンソンコントロールズ株式会社	
積水ハウス株式会社 神奈川カスタマーセンター	

会員会費や当財団への寄付金は、公益財団法人への寄付として税制優遇措置を受けることができます。

[特別法人・団体会員]

有限会社サニー
 株式会社出羽商会
 株式会社湘南なぎさパーク
 株式会社美装
 協和通商株式会社
 横浜エフエム放送株式会社
 湘南モールフィルテナント会
 株式会社神中運輸
 日本たばこ産業株式会社 神奈川支社
 小田急電鉄株式会社
 京浜急行電鉄株式会社
 株式会社フジカッター
 株式会社ジェイコム湘南
 株式会社ケイコムシー
 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
 日本メトロニック株式会社
 大東建託株式会社 平塚支店
 医療法人社団 青海会 しんゆり青木整形外科
 株式会社ガイア
 株式会社アダストリア グローバルワーク 営業部

[法人・団体会員]

辻堂ゴミゼロクラブ
 「おもいやり連鎖運動」神奈川県推進委員会
 特定非営利活動法人日本渚の美術協会
 安藤鋼機株式会社
 ダイタン株式会社 横浜支店
 かながわ信用金庫ボランティアサークル「ふれあい」
 TSSA(ザ・サーフサーフィンガアンソシエーション)
 西湘地域連合
 グランドレイジーフェローズ
 公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
 一般社団法人神奈川県ビルメンテナンス協会 青年部会
 FUJISAWA BEACH CLEANING PROJECT
 連合神奈川
 湘南地域連合
 公益社団法人平塚青年会議所
 一般社団法人神奈川県バス協会
 神奈川県農業協同組合中央会
 公益財団法人神奈川県都市整備技術センター
 ミキモト労働組合
 公益財団法人相模湾水産振興事業団
 飯金工業株式会社
 岩漁業協同組合
 神奈川トヨタ自動車株式会社
 茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会
 海岸清掃団体 湘南ウキブイ
 一般財団法人漁漁漁場漁村総合研究所
 住友生命保険相互会社
 株式会社さんこうどう
 株式会社リコー
 神奈川県内広域水道企業団
 社会福祉法人伸こう福祉会
 株式会社グリーンアップル
 株式会社ストリームグラフ
 湘南サンズ
 スブラッシュトーイズ鎌倉
 公益財団法人藤沢市みらい創造財団
 有限会社椿建設
 有限会社永塚製作所
 株式会社スターライン
 一般財団法人横須賀西部水産振興事業団
 公益社団法人大磯町観光協会
 建設廃棄物協同組合
 東京海洋大学 海岸環境研究会 Coastline
 一般社団法人横須賀市観光協会
 公益社団法人藤沢市観光協会
 株式会社ニューフレアテクノロジー
 公益財団法人神奈川公園協会
 一般社団法人神奈川建設業協会
 一般社団法人茅ヶ崎市観光協会
 一般社団法人平塚市観光協会
 株式会社ヤチヨ
 江ノ島電鉄株式会社
 株式会社ワイ・ケー電子
 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
 (順不同)

[行政]

神奈川県
 横須賀市
 平塚市
 鎌倉市
 藤沢市
 小田原市
 茅ヶ崎市
 逗子市
 三浦市
 葉山町
 大磯町
 二宮町
 真鶴町
 湯河原町

[企業・団体等]

株式会社旭広告社
 アルソア本社株式会社
 大塚製薬株式会社
 小田急電鉄株式会社
 株式会社神奈川新聞社
 キリンビール株式会社
 京浜急行電鉄株式会社
 相模鉄道株式会社
 サッポロビール株式会社
 JXTGエネルギー株式会社
 株式会社商船三井
 スルガ銀行株式会社
 株式会社そごう・西武
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 宝酒造株式会社
 東京海上日動火災保険株式会社
 東京ガス株式会社
 東京電力ホールディングス株式会社
 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
 三菱UFJニコス株式会社
 日本たばこ産業株式会社
 東日本電信電話株式会社 神奈川支店
 株式会社美装
 富士火災海上保険株式会社
 コカ・コーライーストジャパン株式会社
 株式会社みずほ銀行
 三井住友海上火災保険株式会社
 株式会社横浜銀行
 神奈川県農業協同組合中央会
 生活協同組合ユーコープ
 逗子仏教会
 全国労働者共済生活協同組合連合会
 (順不同)

かながわ
 海岸
 美化
 財団



平成 29 年 6 月発行 企画・発行 公益財団法人かながわ海岸美化財団
 〒253-0033 茅ヶ崎市汐見台 1-7 Tel 0467-87-5379 Fax 0467-87-5340
 URL <http://www.bikazaidan.or.jp/> FB <https://www.facebook.com/bikazaidan>

印刷 株式会社さんこうどう
 E-Mail info@bikazaidan.or.jp

supported by [特別法人・団体会員] (順不同)

